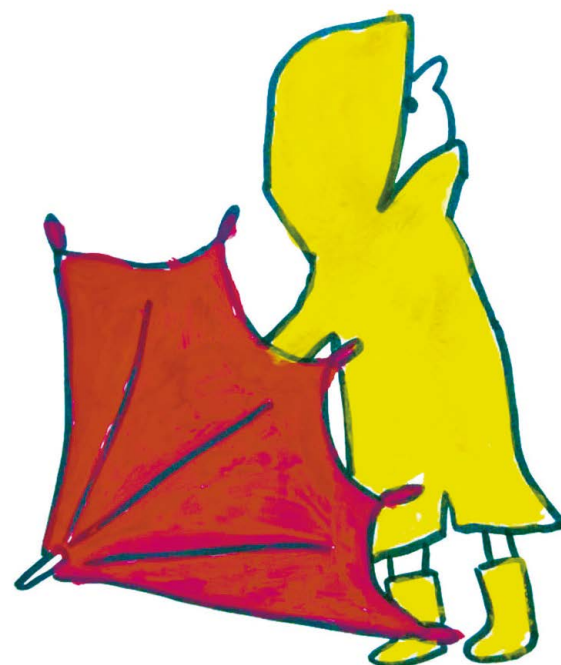


大人は 子ども のことに、 もっと 考えてほしい。



新型コロナウイルスは、命だけでなく、様々なことを奪っています。
一年に一度だけの文化祭や運動会。発表会、演奏会、大切な試合の応援。
修学旅行。受験や就職活動。卒業式を多くの人に祝ってもらうことも、
成人式をひさしぶりの友達と祝うこともできません。
「大人は子どものこと、もっと考えてほしい。」SNSでつぶやいている子どもがいました。
かけがえのない、その年齢だからできること。だれもが懐かしく思い出すような、
放課後の寄り道や練習を頑張った後の食事さえ、今はすることができません。
それだけではありません。
家に閉じこもり人との交流が少なくなる中で、お互いの顔も気持ちもどんどん見え
なくなっています。長く続く経済への影響で生活がひっ迫する家庭も増えています。
引きこもり、生活困窮、虐待など様々な困難にさらされている子どもたちもいます。

「なんでこんな目にあわなくてはいけないのか」
大人も思う中で、あらがう手段の少ない子どもたちはさらに追い込まれています。

一方で、この状況に何とか対応しようと様々なNPOが取り組みを行っています。
「生活困窮の家庭へ食品を提供しよう。」
「引きこもりの子どもたちに居場所を提供しよう。」
これまでの経験と専門性を活かし、なんとかできることをしようと。
しかし、その手はまだまだ足りていません。
そして、もっと届けなくてはいけない子どもたちが、家庭があります。

私たちは、みんなの力で応援すればそのNPOの支援の手を、もっともっと伸ばせる
のではないかと「KOTOMO基金」を立ち上げました。困難を抱える子どもたちや
ご家庭にもっと支援の手が届き、困難を抱える人たちが逃げ込める場所を
増やせるのではないかと。支援を広げれば、希望を広げられるのではないかと。
「KO・TOMO」とは「子と共に」。子どもたちはこの地域の未来です。
子どもたちを誰ひとり取り残さないために、支援の手を伸ばし続ける。
そのために、あなたの力を貸してください。
一人でも多くの子どもたちに、支援と大人たちの想いを届けていきたいと思います。

子ども支援プロジェクト「KOTOMO基金」

特定非営利活動法人 岡山NPOセンター
社会福祉法人 山陽新聞社会事業団
株式会社 山陽新聞社

子どもたちを誰ひとり取り残さない



「KOTOMO基金」で伸ばせる手を、 みんなの力で、もっと、もっと。



KOTOMO基金のしくみ

市民や企業のみ
なさんからご寄
付をいただく

いただいた寄付を県内
活動実績や運営を確
認したNPOに配分。(岡
山NPOセンターが管理)

支援が必要な
子どもや家庭

ご寄付の方法

ご寄付の種類
1.年額寄付 毎年3,000円～
2.都度寄付 任意の金額

寄付者特典
ご寄付者には「KOTOMO基金」ピンバッジを
お送りします。(寄付3,000円につき1個)

ご寄付方法
KOTOMO基金のウェブサイトからお申込み
ください。<http://kotomofund.jp/>
インターネットが見られない場合は岡山
NPOセンターまでお問い合わせください。

配分先NPOについて

岡山県内で20年以上の実績をもち、おやかま親子応援プロジェ
クトで県内団体とコロナ禍での支援に取り組んできた岡山NPOセン
ターと山陽新聞社会事業団、山陽新聞社が以下の取り組みを行う
NPOを選定・配分します。

- ①困難を抱える子ども・家庭への訪問支援
引きこもりや生活困窮の家庭への訪問による相談支援
- ②困難を抱える子ども・家族が避難できる場所の提供
生活支援や相談支援が受けられ、緊急避難できる場の提供
- ③その他、困難を抱える子どもを早期発見する活動
子ども食堂や居場所などで、困難を抱える子どもを発見

「KOTOMO基金」についてのお問い合わせ 岡山NPOセンター/TEL:086-224-0995

